

指定管理施設事業評価票(令和6年度分)

1. 施設所管課 教育委員会事務局 スポーツ振興課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市運動公園					
	所在地	日光市今市・日光・藤原管内(9ヶ所)					
指定管理者	名称	一般財団法人 日光市公共施設振興公社					
	代表者名	代表理事 斎藤 信義					
	住所	日光市瀬尾1640番地22					
指定期間		令和6年4月1日		～	令和11年3月31日	5	年間
選定方法		非公募			評価実施年	5	年間のうち 1 年目
施設設置目的		運動公園は、日光市都市公園条例に定める施設で、スポーツの振興と地域住民の健康保持及び増進を図るとともに、ふれあいの場として設置しています。 運動公園の目指すべき方向性としては生涯スポーツ、子育て支援、高齢者の健康増進といった住民ニーズや、今後の環境の変化に対応した運営・管理により、地域住民の身近な運動施設として利便性の向上と安全性の確保に努め、公共の福祉の向上と地域の活性化の貢献を目指します。					
主な実施事業		施設、設備等の保守管理業務。グラウンド整備。緑地・植栽管理。 清掃業務。物品補充。簡易修理。巡回点検。 今市運動公園・丸山公園・日光運動公園の貸し出し等運営業務。 丸山公園水泳プールの管理運営業務。 スポーツ教室の開催。					

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a	有料施設利用件数(9ヶ所)	件	28,200	23,318								
b	利用者満足度(総合)	%	90	92.6								
c	遊具の目視点検実施回数	回	52	52								
d	芝刈り実施回数(グラウンド)	回	8	10								
e	芝刈り実施回数(その他)	回	3	7								

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
収入計 A		123,508,436	0	0	0	0
	指定管理料	119,080,000				
	利用料収入 C					
	自主事業収入	3,400,829				
	その他	1,027,607				
支出計 B		119,178,496	0	0	0	0
	指定事業費	118,055,000				
	内人件費 D	51,339,958				
	内外部委託費 E	27,845,240				
	自主事業費	1,123,496				
事業収支 A-B		4,329,940	0	0	0	0
人件費率 D/B		43.08%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
外部委託比率 E/B		23.36%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	利用件数は昨年比では微増であるが、少子高齢化の影響等も含め一定数以上の利用者を見込むのは難しかった。
	人員の確保に苦慮し、人員不足分を外部委託で補ったため比率が増加した。

サービス改善の状況

ホームページに、大会や積雪などで施設の一般利用ができない日を掲載し、情報提供を行った。
大会が実施される際に、施設の早開けや前日の鍵貸出を行い大会運営がスムーズになるよう務めた。
引き続き、誰でも気軽にスポーツが楽しめるように、テニス・卓球・バドミントンラケットの貸し出しを行っている。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価
① サービスの 履行の 確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	B
		外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B
		個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
② サービスの 質の評価	施設管理	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
		協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。	B	B
	利用者対応	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	B
		事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B
	事業運営	緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。	B	B
		避難経路が適切に確保されている。	B	B
	維持管理	「業務の実施体制」に関する評価【17項目】	B	B
		協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B
		利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	B
	環境配慮	利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	B	B
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
		事業計画に即し、受託事業を実施している。	B	B
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B
③ 安定性	広報活動	事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情等対応	仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
	利用者アンケート	協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
所見 (成果・課題等)	環境配慮	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
	利用者アンケート	要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B
	利用状況	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B
	総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	B	B
	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】	B	B
前年度総合		B(良好)	総合評価	B(良好)

※評価区分

評価基準	A(優良)	=	協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
	B(良好)	=	協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
	C(要改善)	=	一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			
総括評価	A(優良)	=	評価項目のうち、A判定が80%以上
	B(良好)	=	A、C 以外
	C(要改善)	=	評価項目のうち、C判定が20%以上
総合評価	A(優良)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好)	=	A、C 以外
	C(要改善)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。